



平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震により発生した
津波により被災した海岸防災林
(宮城県山元町、東北森林管理局管内)

トピックス

東日本大震災への対応

東日本大震災への対応

平成23年3月11日に、三陸沖を震源として、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」が発生しました。この地震により、広い範囲で強い揺れが観測されました。また、太平洋沿岸を中心に高い津波が観測され、特に東北地方の太平洋沿岸地域で大規模な津波被害が発生しました。さらに、3月12日には、長野県北部を震源とする震度6強の地震が発生し、これらの地震・津波による被害は未曾有の規模となりました。

国有林関係の被害としては、地震による山腹崩壊、山火事や林道の損壊、津波による防潮護岸、海岸防災林の被災等が確認されました。さらに、林野庁の出先機関においては、東北地方の太平洋沿岸部に位置する三陸北部、三陸中部、磐城の各森林管理署等で建物等の被害が発生しました。

関係森林管理局では、地震発生直後に、ヘリコプターによる山地等の現地調査を行うとともに、不通となった県道の迂回路として国有林林道を活用しました。また、関係機関と連携し、森林管理局・署職員による被災地への食料等支援物資の搬送支援などに取り組みました。

事例 東日本大震災への緊急対応

東北森林管理局では、東日本大震災の発生を受け、仮設住宅土台用杭丸太向け原木の安定供給に取り組みました。また、大口需要者である合板工場等が被災したため、木材市況に影響を及ぼさないよう弾力的な木材の供給に努めています。

さらに、災害により発生したがれきの一時置場や仮設住宅用地として、国有林野の無償貸付けや候補地の情報提供を行いました。

（東北森林管理局）



場 所：秋田県能代市（上）、宮城県仙台市（下）
説 明：写真は、仮設住宅土台向け杭丸太用原木の輸送（上）と、がれきの一時置場の様子（下）です。

事例 東日本大震災における緊急対策

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、防潮護岸や海岸防災林等に甚大な被害が発生しました。

特に、宮城県気仙沼市大谷海岸においては、防潮護岸等の治山施設流失や地盤沈下のため、高潮や波浪による浸水被害が危惧されたことから大型土のう設置による緊急対策工事に着手しました。

(東北森林管理局)



場 所：宮城県気仙沼市大谷海岸

説 明：写真は、津波による被災状況の調査の様子（上）と、大型土のうによる緊急対策中の防潮護岸工（下）です。

事例 長野県北部地震発生時の長野県と連携した取組

中部森林管理局では、平成23年3月12日に発生した長野県北部を震源とする地震による被害状況の確認のため、地震発生当日に長野県担当者とともに、ヘリコプターから山地の崩壊状況の調査を行いました。

また、警戒体制や復旧計画を検討するため、専門家、林野庁担当者、長野県担当者とともに現地調査を実施したほか、民有林における復旧計画の検討委員会にも参画しながら上流域の国有林と連携した対策を進めることとしています。

(中部森林管理局)



場 所：長野県下木内郡栄 村
 説 明：写真は、現地調査のためにヘリコプターに乗り込む様子（上）と、林野庁と長野県との合同での現地調査の様子（下）です。